

1月の政治・経済イベント

重要 01 米バイデン政権始動

米国では民主党のバイデン次期大統領が、2021年1月20日に就任式を迎えます。就任演説や、その後1月末から2月初に予定される施政方針演説で示される新政権の政策運営方針が注目されます。また、1月5日のジョージア州での連邦議会上院の2議席の決選投票も重要です。共和党が1議席でも獲得すれば、民主党は上院で過半数の議席を得られず、バイデン政権は政策運営において共和党との妥協を求められることが多くなりそうです。

重要 02 新型コロナウイルスの感染状況

多くの国で新型コロナウイルスの感染拡大が続き、活動制限が強化されていることなどから経済への影響も懸念されています。英国では感染力の高い変異種の感染が広がっていると見られ、他国へも広がらないかに注意が必要です。一方、欧米などで新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が始まりました。接種が迅速に進み、十分な効果が得られ、深刻な副作用がないか、といった点が注目されます。

重要 03 各国の景気動向

日米欧などの主要国の景気は2020年前半に大幅に悪化した後、7-9月期には急反発しました。しかし、新型コロナウイルスの感染再拡大などにより10-12月期には減速したと見られます。2021年1月に発表される2020年10-12月期や12月分の各国の主要経済指標の動向が注目されます。1月前半に発表される予定のIMF（国際通貨基金）の世界経済見通しが、前回の10月見通しからどのように修正されるかも注目されます。

1月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
5日(火)	米国 	連邦議会上院ジョージア州選挙区決選投票
8日(金)	米国 	雇用統計（12月）
前半		IMF（国際通貨基金）世界経済見通し発表
20日頃	中国 	10-12月期GDP、鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（12月）
20日(水)	米国 	大統領就任式
21日(木)	日本 	金融政策発表
21日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
27日(水)	米国 	金融政策発表
28日(木)	米国 	10-12月期GDP（速報値）
29日(金)	日本 	失業率、有効求人倍率、鉱工業生産指数、住宅着工件数（12月）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。